

【記者からの質問】

西日本新聞／補正予算案は、どこに重点を置いたのか。

知事／エネルギー、食品など物価高騰の影響を受けている県民や事業者の皆さん方に、約1年半推移を見ながら、随時支援してきた。3月に国からの交付金があり、6月補正で対策を打つべきところを精査し、支援を実施した。コロナの5類移行の影響も考慮した。

西日本新聞／SUMCO 新工場の候補地が、吉野ヶ里に決まった決め手は？

知事／各種インフラ面と人材確保の観点等の条件をバランスよく満たせる候補地だと判断したと聞いた。これから工業用水等に関する工面をする必要がある。SUMCOとは、様々な連携をしながら進めてきたため、信頼関係がある。

毎日新聞／補正予算案で、コロナに関することがあれば教えてほしい。

知事／5類対応の予算にした。現体制で十分だし、病床も確保している。ウィルスが強毒性になれば、すぐに新たな危機管理体制に組み直す準備はしておく。

朝日新聞／SAGA2024 か S S P のどちらかのユニフォームに何かをつけるのか。

知事／まだ決定していないが、ある程度の期間は続けたいので S S P のロゴにと考えている。S S P は、これからも標榜していきたいと思う施策。その普及啓発も含めて取り組んでいきたい。

朝日新聞／プロスポーツへの1.4億円は、債務負担行為8,700万円が含まれるのか、別か。

知事／別です。

朝日新聞／今年度から来年度へと続けていくのか。

知事／そう。そのため、来年度分は債務負担行為分になる。

佐賀新聞／SUMCO 新工場の雇用従業員数などの概要を把握していれば教えてほしい。

知事／それらは SUMCO が御判断されること。土地が22haだから、それなりの設備になるのでは。

共同通信／ノリ支援は、当初予算でも施策が盛り込まれた。6月補正で追加施策をする経緯を教えてほしい。

知事／国と有明海の再生の話をするなかで、佐賀県の取組に理解が得られ、2億円の補助をもらえることになった。農水省の支援に合わせ、現場に意義のある予算として

交付する。

共同通信／今回、カキ礁の造成が含まれている。昨年実施した緊急対策は、どの程度効果があったのか。

知事／定量的な報告は難しい。漁業者は、カキがプランクトンを食べて大きくなった実感を持っている。サルボウなどいろいろ試し、効果を確認始めた段階。定量的な判断ができれば良いが、有明海は難しい海。一義的に定義できないが、やれることは何でもやっていく。

NHK／物価高騰対策の家庭への負担軽減で、どこに一番配慮したのか。また、エネルギー問題は続くと予想されるが、今後配慮していく点は？

知事／今回の予算編成は、3月の国の交付金を佐賀県仕様に変え、家庭や中小企業に効果を発揮させられるかがポイントだった。LPガス、低所得者家庭の教育問題、CSO関係が課題だと判断し、支援策を打ち出した。

国の交付金は大きな財源。知事会を通じ、国に現場の状況を訴えていく。

佐賀新聞／国がLPガスを支援対象にしなかった理由を分析したのか。

知事／地域により実情が異なるため、制度設計できなかったのではないかと。都市ガスはシンプルなので、把握しやすい。LPガスは地域で形態が違い、標準化できなかった。国も、地方ではLPガスの普及率が高いと知っている。それを踏まえて3月に交付されたのだろう。